

## ( - 2(4)) 白熱電球の省エネランプへの切替え

府省庁名 経済産業省、環境省

総理スピーチ又は懇談会提言における記載事項	
<p>(総理スピーチ) 2012年を目指して、全ての白熱電球の省エネ電球への切り替えを進めていきます。蛍光灯型電球に換えることで、必要な明るさは保ちながら、消費電力は5分の1、寿命は10倍になります。</p> <p>(懇談会提言) 国民は電球型蛍光灯、液晶テレビ、ヒートポンプ技術を組み込んだ給湯器・エアコン・冷蔵庫など省エネ性能の高い製品やサービス等への切り替えを積極的に進めることで、生活のエネルギー効率を向上させる。</p>	
目指すべき姿	家庭等で使用される一般的な白熱電球について、2012年を目途に、原則として電球形蛍光灯ランプなど省エネ性能の優れた製品への切替えを実現する。
基本方針	<p>切替えに当たっては、電球形蛍光灯ランプは白熱電球に比べて、消費電力が5分の1程度、製品寿命が約6～10倍であることから、使用時を含めたコストに優れているものの、製品価格が約10倍と価格差が大きいいため導入時の負担が大きい。また、調光用や装飾用など一部の用途については現状では代替が困難であるといった課題がある。</p> <p>その解決に向け、国、製造事業者、流通事業者、消費者団体等の連携の下、「省エネあかりフォーラム」を通じた省エネランプのメリット等の消費者への情報提供などにより、白熱電球から電球形蛍光灯ランプなど省エネ性能の優れた製品への切替えを消費者に働きかけていく。</p> <p>また、製造業者において、一層の性能向上と使いやすさの改善、代替困難な用途向けの製品開発や有機ELを利用した次世代照明の技術開発に取り組むほか、流通業者において、省エネランプの積極的な情報提供、販売を行う。</p>
具体的な取組の道筋	<p>電球形蛍光灯ランプなどの省エネ性能の優れた製品(以下、省エネランプ)をさらに普及促進させるため、本年5月9日付けで経済産業大臣より昨秋設立された省エネ家電普及促進フォーラムに対して省エネランプの普及について要請を行い、当該フォーラムの下に、白熱電球・電球形蛍光灯ランプ等の製造事業者、流通事業者等が参加する「省エネあかりフォーラム」を5月12日に設立。</p> <p>今後、「省エネ家電普及促進フォーラム」が実施する夏・冬キャンペーンと連携した広報活動等を展開するとともに、メンバー企業等がそれぞれの立場で自主的に実施する取組を推進する。なお、大手電球メーカーからはすでに省エネ性能の優れた製品の普及を促進する取り組みについて発表しており、さらに立ち上がりの課題を改善した電球形蛍光灯ランプも製品化されるなど、性能改善も進んでいる。</p> <p>製造事業者の取組と併せて、白熱電球を販売する流通事業者が省エネランプを積極的に販売することにより、2012年までに一部代替が困難な用途向けを除いて、出荷されている白熱電球の電球形蛍光灯ランプへの原則切替えを図る。</p> <p>その他、7/4に開催される「あかりサミット」にて、国際的に省エネ性能の優れた製品の普及に努めることを、日本から発信するほか、10/21の「あかりの日」において、省エネランプ普及の取組等について広報を実施。</p> <p>チーム・マイナス6%において白熱電球の省エネ電球への切り替えについて、テレビ・新聞・インターネット等各種マスメディアの積極的な活用を始め、多様な手法による適切な情報提供を通じて国民の意識に強く働きかけることにより、地球温暖化防止に向けた国民一人一人の自主的な行動を促していく。</p> <p>蛍光灯の発光効率を超える高い省エネルギー化を実現しうる有機ELを利用した次世代照明の研究開発(3.6億円)を実施。</p>
20年度中に実施	

来年度以降に実施するもの	20年度同様に、「省エネあかりフォーラム」の取り組みを実施するとともに、特に製造事業者、流通事業者及び消費者団体の各主体がより連携し、省エネランプの普及に取り組む。チーム・マイナス 6%において白熱電球の省エネ電球への切替えについて、テレビ・新聞・インターネット等各種マスメディアの積極的な活用を始め、多様な手法による適切な情報提供を通じて国民の意識に強く働きかけることにより、地球温暖化防止に向けた国民一人一人の自主的な行動を促していく。
--------------	--